

私たちは、地域住民の心と身体の健康をささえる病院として

「こころのふれあい」を大切に、安心と満足、信頼を得られる医療・保健・福祉を推進します。

八幡青樹会病院 季刊広報誌

平成 20 年 1 月 1 日 発行

発行責任者 広報委員会

地域連携室

青葉の風

第 15 号

連絡先 医療社会事業課 0748-33-7104

新年のご挨拶



あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、希望に満ちた 2008 年の新しいお年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。今年も当院の理念に基づいた地域の皆様にご満足いただける病院を目指し、職員全員が一丸となって取り組み続ける所存でございます。

本年も変わらぬご支援、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

財団法人青樹会 八幡青樹会病院 院長 由利 和雄
職員 一同

天皇賜杯第 62 回全国野球大会ベスト 8 獲得 野球部監督 二国 和良



青樹会病院軟式野球部は、9 月に秋田県大仙市で行われたわか杉国体（秋田国体）に出場し、翌 10 月には大分県で行われました天皇賜杯第 62 回全国大会に出場いたしました。天皇賜杯は全国から代表に選ばれた 56 チームによるトーナメント形式で行われ、この栄誉ある大会に青樹会病院野球部はベスト 8 の成績をあげることが出来ました。11 月は前年度優勝チームとして、中部都市対抗野球大会には滋賀県代表として出場いたしました。これからも皆様の熱いご声援をよろしく願いいたします。

歩きました！ 30 Kmウォーク

教育委員会 岡田 実



毎年、教育委員会主催の行事として、その年の新就職者を対象に 30 km ウォークを行っております。3 年連続天気は快晴。今年は企画段階から対象者に参加してもらっていた為、個々の目的意識が高く、例年以上にまとまりのある行動をとることが出来ました。往路一部コースを間違えるグループもありましたが、復路は正面から西日に照らされながらゴミを拾って歩き、病院に帰ってきた時にはみんな真っ赤に日焼けしていました。

文化祭と模擬店をおこないました

作業療法士 坂口 景子



11 月 14 日（金）、15 日（土）の 2 日間に渡り、文化祭と模擬店が行われ、延べ 455 名の患者様が参加されました。文化祭では、患者様や職員が創作した手芸などの作品が、院内と外来に展示され、その中から院長賞・副院長賞など 3 賞が選ばれました。また模擬店では、大判焼きやたこ焼きなどの出店が並び、多くの患者様で賑わい、楽しい 2 日間を過ごしました。



盛り上がった第 19 回財団法人青樹会 研究発表会

研究発表部会 福本利和

11月18日に財団法人青樹会研究発表会が近江八幡市勤労者福祉センター（アクティ近江八幡）にて行なわれました。各分野における研究や改善などを発表する場となり今年で19回目となりました。八幡長浜両院より17演題の参加があり、その中から選抜された11演題が発表されました。

また、特別講演として琵琶湖博物館より前畑先生をお招きし、『琵琶湖の魚の現状から環境をみる』というテーマでお話しを頂き、日頃感じ得ない様々な刺激をもらった1日となりました。患者様サービス、経費削減、業務の効率化などに繋がるよう来年の発表に向けて研究心を忘れずに業務に励んでいきたいと思いました。



こころのエッセイ・・・ ほっと一息！！

『 忙しい毎日をご過ごしていますが時々ほっとする瞬間に出会います。

『 青い空、虹、仲の良さそうな夫婦。 』



居宅サービス事業部 訪問看護ステーションおうみ
伴 承子

先日は、自宅で療養されている利用者さまのお宅の紅葉がとても素晴らしく、お元気な頃に手入れをされているお姿を思い浮かべました。枕元で一緒に眺めていると、利用者様が目を細め、ほほを緩めました。介護されている奥様も、二人が元気な頃はタクシーで一緒に京都の名所に紅葉を見に行くと懐かしんでおられました。紅葉を見つめていたほんの一瞬、3人に同じ時間が流れたように思われ、幸せのおすそ分けをしてもらったような豊かさを感じました。明日も、明後日も、そんな時間があるかもしれないと今日も車を走らせています。

(写真は記事と関係ありません)



皆さまからのご意見、投稿など募集しております。

詳しくは広報委員会までお尋ねください。八幡青樹会病院 広報委員会（地域連携室内）

電話 0748-33-7104 FAX 0748-32-7725

